

## 長崎港港湾環境整備事業 長崎港新国際ターミナルビル整備 ～ 国際観光船埠頭の整備～

### 1. 事業概要

長崎港松が枝地区は平成18年度に63隻(うち国際観光船は52隻)の観光船が寄港し、国内でも有数の国際・国内観光船の寄港地となっている。また背後は東山手、南山手の歴史的景観にも恵まれていることから、他にない歴史を持ち、港周辺の景観にも優れた国際観光港として高い評価を得ている。しかし、観光地間の競争が激しい時代を迎えていることから、日本で初めてとなる10万総トン級対応岸壁と併せ、ふ頭部の景観向上、機能向上を目指し、緑地と国際ターミナルビルの整備を行う。

< 上段:長崎港港湾環境整備事業 下段:長崎港新国際ターミナルビル整備(地域自立・活性化交付金) >

場所	長崎市	諸元	緑地 12,000m <sup>2</sup>	事業費	20年度	0.5億円
			新国際ターミナルビル 1棟		全体	6.0億円
事業着手	平成20年度	完成予定	平成22年度	全体	6.0億円	
	平成20年度		平成21年度		6.0億円	

### 位置図・平面図・写真等

2. 整備効果 緑地とターミナルビル整備により、ふ頭部の機能及び景観向上が図られ、国際観光港として高い評価を保ち、国際交流人口の増大を図る事が出来る。

3. 平成20年度の事業内容 設計